令　和　４　年　度

教育委員会外部評価委員会

点検・評価報告書

令和５年１０月

龍郷町教育員会

目　　次

・龍郷町教育振興基本計画施策体系・・・・Ｐ１

・教育委員会外部評価の基本方針・・・・・Ｐ２

・事務事業等評価一覧表・・・・・・・・・・Ｐ４

・教育委員会の点検・評価について・・・・Ｐ10

【資料】

・　龍郷町教育行政外部評価委員会設置要綱

龍郷町教育振興基本計画施策体系図

《基本目標》夢を紡ぎ　未来を織りなす　龍郷の人づくり

教育施策の方向性

1. お互いの存在を尊重し、自己実現のための基盤となる豊かな心や健やかな体を育む教育の推進
2. 夢や希望をもち、未来を切り開くための能力を伸ばしていく教育の推進
3. 自分を育んでいる「ひとものこと」を尊重し、持続可能な社会の創り手（島興し）を育む教育の推進
4. 信頼され、地域とともにある学校づくりの推進
5. 地域全体で子度を守り育てる環境づくりの推進
6. 生涯を通して学び活躍できる環境づくりとスポーツ・文化の振興

5年間に取り組む方針

1 お互いの存在を尊重し、自己実現のための基盤となる豊かな心や健やかな体を育む教育の推進

① 道徳教育の充実
② 生徒指導の充実
③ 人権教育の充実
④ 体験活動の充実
⑤ 子供の読書活動の推進
⑥ 食育の推進
⑦ 体力・運動能力の向上
⑧ 健康教育の充実
⑨ 自己肯定感の向上

2 夢や希望をもち、未来を切り開くための能力を伸ばしていく教育の推進

① 確かな学力の定着
② 教育の情報化の推進
③ キャリア教育「TUMUGIプラン」の推進
④ 消費者教育・主権者教育の推進
⑤ 国際理解教育の推進
⑥ 幼児教育の充実

3 自分を育んでいる「ひとものこと」を尊重し、持続可能な社会の創り手（島興し）を育む教育の推進

① 環境教育・持続可能な開発のための教育の推進
② 郷土教育の推進
③ 伝統・文化活動の推進
④ 福祉教育・ボランティア活動の充実
⑤ 地域を支える次世代の人づくりの推進

4 信頼され、地域とともにある学校づくりの推進

① 開かれた学校づくり
② 学校運営の充実
③ へき地・小規模校教育の振興
④ 教職員の資質向上
⑤ 安心・安全な学校づくりの推進
⑥ 学びのセーフティネットの充実

5 地域全体で子度を守り育てる環境づくりの推進

① 地域ぐるみでの子供の育成
② 地域ぐるみでの安全・安心な環境づくり
③ 家庭の教育力の向上

6 生涯を通して学び活躍できる環境づくりとスポーツ・文化の振興

① 生涯学習環境の充実
② 生涯スポーツの推進
③ 文化芸術活動の促進
④ 地域文化の継承・発展
⑤ 文化財の保存・活用

Ⅰ　教育委員会外部評価の基本方針

１　制度の概要

平成１９年６月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正（平成２０年４月１日施行）され、教育委員会は毎年、その教育行政事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することが規定された。

このことから、本町教育委員会では同法の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するため所管事務事業の点検を行い、報告書にまとめた。

> ○地方教育行政行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）
>
> （教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）
>
> 第２６条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第１項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第３項の規定により事務局員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
>
> ２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

２　点検・評価にあたっての基本的な考え方

（１）　成果を重視した行政運営を行うため、事後評価を基本とする。

（２）　評価の客観性、透明性を確保するための外部評価を行う。

（３）　評価の対象・方法は、毎年度見直しを行う。

３　点検・評価対象、テーマの設定について

（１）　教育委員会委員の活動状況

①　定例及び臨時教育委員会の会議の状況

②　その他の活動状況

（２）　教育委員会所管の事務事業

①　教育委員会が所管する事務事業について事務局で協議・選定する。

４　点検・評価の手順

（１）　教育委員及び教育委員会事務局による自己評価

（２）　外部評価委員による評価

（３）　報告書の作成

（４）　教育委員会で報告書の決定

（５）　議会への提出及び公表

5　評価点数について

評価点数は５段階評価とし、以下のとおりとする。

評価	評価の基準	目標等達成の目安
5	目標を十分に達成し、期待以上の成果が得られた。	８割～１０割
4	目標を概ね達成し、ほぼ期待どおりの成果が得られた。	６割～８割
3	目標を半分以上達成し、ある程度の成果が得られた。	４割～６割
2	目標をあまり達成できず、成果が少なかった。	２割～４割
1	目標をほとんど達成できず、成果がなかった。	０割～２割

6　令和４年度点検・評価の経過等について

令和４年　５月　　教育委員会主要事業の選定
令和４年　７月　４日　第１回　龍郷町教育委員会外部評価委員会開催
（点検事業概要説明）
令和５年　３月　　自己点検・事業評価作成（教育委員・事務局員）
令和５年　５月１５日　第２回　龍郷町教育委員会外部評価委員会開催
（事業評価・意見徴収）
令和５年　７月１０日　第３回　龍郷町教育委員会外部評価委員会開催
（事業評価・意見徴収）
令和５年　７月３１日　事務局にて報告書作成・（報告書最終確認）
令和５年　９月１９日　定例教育委員会に点検・評価結果報告書の議案提出
（審議・可決）
令和５年　９月　　龍郷町議会へ点検・評価結果報告書の提出

7　龍郷町教育委員会外部評価委員会

地方行政の組織及び運営に関する法律第２６条第２項の規定に基づき「評価委員会」を開催し、４４事業について意見徴収を行いました。

【委員名簿】

職　　名	氏　　名	役　職　名
委員長	永田　彬也	有識者
副委員長	高司　聖保美	有識者
委員	備　秀朗	有識者
委員	別府　ちよみ	有識者

龍郷町教育委員会事務事業自己点検評価一覧表（令和4年度事業）

総務・学校教育

事務事業（評価項目）		実施状況	自己評価（成果と課題）	外部評価委員意見	評価
1	教育委員の活動	〇委員会の開催・・１２回 〇学校訪問・・全小中学校９校 〇龍郷町総合教育会議・・３月２０日	年間を通して各種行事への参加や、学校訪問を通して教育行政への提言等が適正に行われている。	定例教育委員会の実施や学校訪問等を通して、適切に運営されている。	4
2	奨学金選考委員会	令和5年2月24日13：30～りゅうがく館視聴覚室にて開催。 選考委員12名（1名欠席） 10名応募→10名認定。	防災無線・町広報誌・FM龍郷等での周知、他の奨学金との併用可、申込期間を42日と長期間にしているため応募数が増えている。今後、申込者の所得制限、交付決定人数の制限をかけていくかが課題。	課題としてあがっている所得制限や人数制限等は、今後検討が必要と思われる。	4
3	外国語教育推進員事業	年間計画に基づき、小学校2名、中学校１名の推進員が各学校を巡回し、外国語支援を行った。	教科担任や各教諭と十分に連携して、指導が行えている。今後も十分な指導が行えるよう推進員とも連携しながら事業を進めていかなければならない。	専科教員や担任と推進員がうまく連携しており、国際理解教育や外国語活動が充実している	4
4	学校評議委員会	各学校において評議員を選任し、各学期ごとに評議委員会を開催して、学校経営の在り方について議論を行った。	各学校ごとに適正に開催されており、活発な意見交換が行われている。今後も委員の皆様に協力いただき、地域に開かれた学校としていきたい。	当該校区の児童生徒にとって何が必要なのか、学校・家庭・地域がそのために何をすべきなのか、高い見識で協議できる会議であってほしい。	3
5	SSW実践研究事業	年間計画に基づき、３名のSSWが各学校を巡回し、様々なサポートを行った。	町内学校に定期的に訪問し、子どもとの面談を適切に行っている。今後も連携して児童生徒の悩み等の解消に努める。	社会環境・家庭環境が複雑で、問題を抱えている子どもや保護者が多いのが現状であるので必要性が高い事業である。	4
6	教育研究会補助金	各教科・領域等部会（17部会）の活動費・英語教材費 ＩＲ研修会講師謝金・教育講演会講師謝金 学力水準向上推進大会講師謝金	各部会、研究テーマに沿って充実した研究が行われている。また、研修会・講演会等により授業力の向上に繋がっている。引き続き事業実施は必要である。	オンライン配信による研究会開催が増えることが予想されるが、計画的な予算化が必要になってくる。	4
7	読書活動奨励事業	令和5年1月28日10：00～りゅうゆう館文化ホールにて開催。 多読賞:53名・詩の暗唱:48名・感想文:42名表彰。	小学校の多読賞においては、ほとんどの生徒が100冊をこえており、200冊をこえる生徒も数名いる。生徒の読書活動の推進に繋がっている。	読書習慣は、子ども達の日常、今後の人生を豊かにしてくれると思う。学校と社会が連携して、読書環境を作る取組は今後も継続を望む。	4
8	日本復帰記念弁論・ショートスピーチ大会	令和4年11月8日14：15～りゅうゆう館文化ホールにて開催。 生徒代表：英語暗唱の部6名・弁論の部6名	代表者選考、大会での発表を通して生徒の弁論力・英語ショートスピーチ力の向上に繋がっている。	年に一度の文化的な大会、復帰記念の継続事業であるが、生徒が自分の意見をまとめて、どう発表するかとうい有意義な場である	4
9	就学援助事業	新入学児童生徒学用品費（小学生：54,060円×8名＝432,480円・中学生：60,000円×7名＝420,000円） 学用品費（小学1年生：13,230円×9名＝119,070円・小学2～6年生：15,500円×49名＝759,500円・中学1年生25,040円×12名＝	全世帯へ申請書を配布し、申請者の所得・家庭事情等を考慮して対象者を認定している。	子どもの貧困問題やヤングケアラーの存在などが、社会問題化している中において、本事業の意義・継続は重要である。	5
10	修学旅行補助金	小学校7校実施（1人20,000円補助） 20,000円×103名＝2,060,000円 中学校1校実施（菊池市宿泊）（1人38,000円補助）	国からの補助と町からの補助によって支給しており、保護者の経済的負担の軽減になっている。今後、ガソリン代の高騰などで旅行費が増大した時の対応が課題である。	補助金については、保護者負担を大きく軽減するものであり、今後も継続していくことを期待したい。	4

龍郷町教育委員会事務事業自己点検評価一覧表（令和4年度事業）

学校施設

事務事業（評価項目）		実施状況	自己評価（成果と課題）	外部評価委員意見	評価
11	ICT推進事業	・外部委託を実施 2回/年学校を訪問し、学校に合わせた研修を実施。 ・夏休みにGoogleの研修を実施	・年度内実施済, ・令和2年度からGIGAスクール構想が始まり、教員のスキルも向上しているようである。	ＩＣＴ教育のメリットとデメリットを十分認識したうえで、教員一人ひとりの活用力の強化に、これまで以上に取り組んでいただきたい。	3
12	危険ブロック改修事業	・円小学校のブロック塀改修工事実施 Ｌ＝21.5m	・年度内の施工完了済 ・次年度については、龍北中学校を予定している。	学校施設の安全・安心の確保は、教育の場として子どもを預かる学校設置者として、基本中の基本である。施設の日ごろの管理、計画的な改修に今後も努めてほしい。	4
13	教員住宅整備補修事業（小学校）	・教員住宅の修繕 ・赤徳小４号棟住宅のシロアリ駆除	・年度内の施工完了済 ・来年度のシロアリ防除の予定は、龍瀬小1・4号棟、龍郷小1・2号棟を実施予定。	毎年、教職員の異動時期のたびに、各学校とも住宅確保に苦労している現状がある。今後とも、計画的な修繕及び住宅建設に取り組んでもらいたい。	4
14	教員住宅整備補修事業（中学校）	・教員住宅の修繕 ・龍南中1号・4号棟、赤徳中1号・2号棟のシロアリ駆除	・年度内の施工完了済 ・来年度は、シロアリ防除の実施予定なし。	毎年、教職員の異動時期のたびに、各学校とも住宅確保に苦労している現状がある。今後とも、計画的な修繕及び住宅建設に取り組んでもらいたい。	4
15	学校施設長寿命化事業	・龍南中学校の屋根・壁等の防水工事、照明取替、高架槽取替工事を実施	・年度内の施工完了済 ・来年度は、龍瀬小学校の工事を予定。	中学校の統廃合も視野に入れながら、計画的な整備を望む。	4
16	スクールバス運行事業	・遠距離通学児童生徒のバスの借り上げ 龍北中、龍郷小、龍南中、大勝小に通学する生徒	・事故等もなく、安全に登下校ができている。	受益者負担の観点から、若干の有料化の検討もなされては良いのではないか。	4
17	理科教育設備等補助事業（小学校）	円小・龍郷小・戸口小	・年度内実施済 ・来年度については、龍瀬小、赤徳小、大勝小、秋名小	今後とも、各学校からの要望、予算等に基づいて適正かつ、効率的な執行に努めてもらいたい。（学校間の到達度に差異がないように配慮する	4
18	理科教育設備等補助事業（中学校）	龍北中・赤徳中	・年度内実施済 ・来年度については、龍南中学校	今後とも、各学校からの要望、予算等に基づいて適正かつ、効率的な執行に努めてもらいたい。（学校間の到達度に差異がないように配慮する	4

龍郷町教育委員会事務事業自己点検評価一覧表（令和4年度事業）

社会教育・学校教育

事務事業（評価項目）		実施状況	自己評価（成果と課題）	外部評価委員意見	評価
19	地域ぐるみ青少年育成事業	5/21開講式　奄美島人リスペクト～奄美の歴史・自然・文化をひもとく～ 6/18シマ唄の深イイ話‼～古い知恵を学び今の暮らしをｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ???～ 9/2スターウォッチング　月と惑星の夕べ　中止 10/29田んぼの生き物SOS 12/17五感で感じる奄美の森 2/4平家伝説の地を探検しよう 3/11草木染め体験　　閉講式・研究発表　年間延べ参加者数442名	コロナ禍であったが多くの参加者があった。 私たちの住む郷土の歴史・自然・文化を見つめ直しながら気付きを促し，もっと調べたいという探究心の向上を図れたと思う。また，自由研究発表では4組12名の発表があり，プレゼンテーションの能力の向上も図れた。今度とも魅力ある講座を実施し，青少年の育成を図りたい。	自分が住んでいる町や村のことを知ることは、自分を知ることにもつながるので、今後も継続してほしい事業である。	4
20	龍郷町PTA連絡協議会補助事業	5/20PTA総会 5/21奄美群島PTA総会（徳之島町） 11/27龍郷町PTA活動研究大会（講師：ニライスタジオ代表　演出家　松永太郎　氏「本物の笑顔ができるまで～演劇を通した人づくり」）	本年度のPTA連絡協議会の事務局となった龍北中を中心に各単位PTAの連携強化と，会員の意識向上を図れた。	ＰＴＡ活動が活発になされ、教育向上に貢献していることを考えると、今後も補助は必要であると考える。	4
21	龍郷町校外生活指導連絡会補助事業	5/20第1回龍郷町校外生活指導連絡協議会 6/15第2回龍郷町校外生活指導連絡協議会 11/25第3回龍郷町校外生活指導連絡協議会 防災無線による帰宅放送（夏・冬・春）	本年度の校外生活指導連絡協議会事務局となった龍北中を中心に各校区にて校外補導を行うなど家庭・学校・地域の連携を図った。	児童生徒の健全育成を目的として、校外における生徒指導の充実を図るための事業であり、必要性は高いと考える。	4
22	龍郷町子ども会育成連絡協議会補助事業	4/15子ども会育成会長会 6/3鹿児島県子ども会育成連絡協議会定期総会 5/31～6/1大島地区子ども会育成連絡協議会総会（天城町） 7/10県子ども会安全啓発初級指導者養成講習会（大島会場） 7/31龍郷町子ども会スポーツ大会　中止（7/5臨時育成会長会にて決定） 7/31（基本）青少年ふるさと美化活動 2/19町民フェア作品展示（子ども会活動内容）	本年度もコロナ禍により，各単位子ども会の行事が中々行えなかったようだ。来年度は国体の本町炬火リレーを子ども会で応援することも計画しており，新年度は各単位子ども会で計画した事業が円滑に実施できることを期待したい。	個々の活動が増える中、子ども会活動は親同士・子ども同士の連携が図れる場である。今後も活動を支援していってほしい。	4
23	二十歳のつどい	1/3（60名対象中49名参加）	成人式より名前を変えた初の式典となったが，メッセージ動画や島唄の披露等例年通りに開催できたのではないかと思う。今後とも二十歳のつどい式典をきっかけに多くの成人者が郷土を誇りに思える企画を実施したい。	故郷や母校、家族・旧友に愛着をもち、いずれ龍郷町に貢献したいと思える人材育成のためにも、式典を継続・充実してほしい。	5
24	社会教育員会の開催	5/10社会教育委員会義実施。 11/19　大島地区生涯学習大会 その他、町の社会教育事業開催時に案内をし、事業の様子を見てもらった。	社会教育委員会議と社会教育事業があるときに,開催案内を通知し事業を観てもらい,社会教育事業等の助言を頂いている。	「社会教育委員として何を為せばよいのか」について、十分時間をかけて説明し、社会教育委員としての資質向上のため、質の高い研修を行っていただきたい。	4
25	家庭教育学級	各学校（9小中学校）に学級主事を配置し、年間計画に基づき、家庭教育の基本やしつけなどについて学習する。学習を進めるうえで、子育て、人権教育、奄美のよさについて理解を深める学習を導入して、年間計画を立て実施。	社会教育においては，各学校家庭教育学級を開設するにあたり，奄美の良さについて理解を深める学習もプログラムも計画に入れ実施された。	家庭教育学級では、保護者などに対し「あるべき子育て」を上から教え、強制するものではなく、自らが納得して自分らしい家庭教育を、つかみ取っていくことができる「学び合い」の場になっていくことを望む。	3

事務事業（評価項目）		実施状況	自己評価（成果と課題）	外部評価委員意見	評価
26	龍郷町地域女性団体連絡協議会補助事業	5月8日　龍郷町女性団体連絡協議会総会（書面決議） 6月11月　理事・役員会 1月　トレイルウォーキング大会	交通安全運動や赤十字を通した福祉活動、地位向上を目指した男女共同参画社会への進出など幅広い活動を行っている。 今年度も、町内の学校等への図書カードの寄贈を行ったり、会員間の交流を図るためのイベント等も積極的に行っていた。	本協議会の活動は幅広い領域にわたっているが、本町においても女性の政治、社会活動に更に積極的な参加促進が望まれる。	3
27	青少年育成事業	6/2第44回青少年の主張鹿児島大会作文提出　2点 7/27～28大島地区ジュニア・リーダー研修会　2名参加 12/2大島地域青少年育成指導者研修会　2名参加	菊次郎ミュージカルや子ども博物学士講座を中心とし，青少年の健全育成を図れていると考える。	子どもの変容が顕著であり、自己肯定感の高まりがうかがえる。	4
28	町民フェア補助事業	令和5年2月19日（日）実施 表彰、町内学校・保育所（園）、子ども会の作品展示 自然の家がやってきたin龍郷町（901名）	３年ぶりの開催となった町民フェアで開催時間を短縮しての開催だったが、多くの方に来場して頂けた。自然の家がやってきたのブースでは、多くの子ども達が参加し、来年はもう少しスタッフの数を増やさないと行けないと思った。	町民に定着している事業の一つである。ステージ部門の運営には改善の余地があると思われるので、検討していただきたい。	4
29	龍郷町文化協会補助事業	3月12日（日）龍郷町文化協会「文化祭」	本年度は、生涯学習講座の閉講式後に町文化協会の文化祭を実施したが、練習日、控室等の問題等があった。 今回は、運営から教育委員会メンバーにお願いをしたが、控室使用後、舞台の位置決めのシールなど片付けがなされていなかった。 来年度は、会員みずから計画、運営してもらえるよう指導していきたいと思う。	本町の芸術文化レベルの向上と発展に寄与している事業であるが、高齢化社会の進行に伴い会員の減少、後継者不足の問題もあるので、更なる支援が必要である。	4
30	龍進未来塾開催事業	龍進未来塾開講　令和4年4月20日（開講） 毎週木曜日（第２木曜、祝日を省く）年間27回実施 中学1年生12名、中学2年生11名、中学3年生10名	今年度は、開講を1ヵ月早めて実施。1校がノー部活デーの曜日が変更した学校もあり、初めの頃は少なかったが、2次募集等で徐々に増えてきた。昨年と比べて、	大変すばらしい事業である。龍北中、赤徳中までの迎えの車に、少額の軽食、こういう事業のあることを全町民に知らせたいほどである。	4
31	へき地児童生徒援助費等補助金（心臓検診）	4月12日実施（龍瀬小・龍郷小・円小・秋名小・龍北中） 4月25日実施（赤徳小中・戸口小・大勝小・龍南中）	国からの補助と町の負担によって実施しており、児童・生徒の健康状態の把握、病気の早期発見に繋がっている。	今後ともへき地における児童生徒の教育を受ける権利を保障するために、引き続き充実してほしい。	5
32	学校保健会補助事業	学校保健会評議委員会開催 町学校保健研究大会開催 「ヘルシー龍郷」発行	学校保健の振興、児童・生徒・教職員の健康を保持・増進する対策に寄与している。町学校保健研究大会における講師謝金不足が課題となっている。	町学校保研究大会は、毎年素晴らしい講師の方をお招きして、子どもたちを取り巻く喫緊の課題に応じた講演を行っており、満足度の高い事業であるが、事業費については講師謝金の件も踏まえ検討が必要である。	4

龍郷町教育委員会事務事業自己点検評価一覧表（令和4年度事業）

社会体育

事務事業（評価項目）		実施状況	自己評価（成果と課題）	外部評価委員意見	評価
33	家庭婦人ソフトバレーボール大会事業	コロナの影響により大会中止のため事業未実施		事業実施の可否について、検討が必要な時期に来ているのではないか。	3
34	町体育協会補助事業	中止…一般バレー、町相撲、町体 実施…大島地区大会（郡体）、町駅伝、大島地区駅伝、県下一周及び女子駅伝派遣	コロナ対策を行った上での競技運営は、人員確保など非常に厳しいものがあったが、可能な範囲で開催できた。	組織自体の健全な運営、競技スポーツと生涯スポーツ推進の両立、指導者育成、県レベルで活躍できる選手育成が課題であると感じる。	4
35	スポーツ少年団運営事業	町スポ少指導者研修会の実施 町スポ少競技別交歓大会の実施（ソフトボール、バレーボール、水泳）地区スポ少競技別交歓大会の実施及び派遣	少子化による影響で各単位団も団員確保に苦慮しているため、指導者の資質向上を図っていく。	スポーツ少年団の運営にあたっては、「スポーツ少年団改革プラン2022」に基づいた活動や指導がなされているか、チェックできるシステムを確立する必要がある。（特に指導者やコーチの行き過ぎた指導がないことを望む）	4
36	全国少年少女草サッカー大会補助事業	コロナの影響により大会中止のため事業未実施（直前中止により一部予算執行済み）旅費キャンセル代・関係者ポロシャツ代		次年度については、開催されることを願う。	3
37	スポーツ推進員事業	町スポーツ推進委員研修会の実施 令和4年度スポーツ推進委員研修会への参加（鹿児島市） 鹿児島県スポーツ推進委員研究大会への参加（奄美市）	スポーツ推進委員の資質向上を図りながら、行事への参加協力を求めた。	スポーツ事業の盛んな龍郷町関係者の資質向上のためには必要である。	4
38	町ロードレース大会事業	ファミリー1km・2km・3kmのコースで実施 295名参加	使用するマラソンコースは、交通量が多いため、交通整理員の増員を検討するなど、更なる安全性を確保しなければならない。	大会運営方法も改善・工夫が見られ、町民参加型イベントとして定着しつつあると感じる。	4
39	西郷南洲奉納剣道大会補助事業	小学生（低学年）2チーム、小学生（高学年）2チーム 中学生4チーム、一般3チーム参加	コロナの影響により参加チームが減ったりした中での開催だったが、滞りなく運営できた。	町内から競技団体の参加もなく、町外が主になっている。大会開催について、検討が必要ではないか。	3
40	学校施設開放事業	スポーツ少年団の活動を中心に全9小中学校体育館・校庭の利用がある。	地域の活動促進及び体力向上を図るため、引き続き事業実施は必要である。	生涯スポーツ活動や文化活動、青少年の健全育成などを目的に、学校近隣の住民が今後も優先して利用できるシステムを維持してもらいたい。	4
41	地域統合型スポーツクラブ事業	事業として機能していない現状である。	りゅうゆう館指定管理者であるASA奄美スポーツアカデミーが実績豊富であるため、連携していく必要がある。	従来行われているスポーツ活動や組織との違いが分かりづらい。中学校の部活動問題とも絡めながら推進してほしい。	3

龍郷町教育委員会事務事業自己点検評価一覧表（令和4年度事業）

文化財・生涯学習

事務事業（評価項目）		実施状況	自己評価（成果と課題）	外部評価委員意見	評価
42	文化財保護事業	○文化財保護審議会の開催…２回 ○平瀬マンカイ保存会の活動助成 ○旧有村商事高倉屋根葺き替え事業	指定文化財候補のリストの拡充を図る。次回の高倉屋根葺き替えでは資材の経費削減を図る。	未来を担う子供たちが、この町を誇りに思えることの一つとして文化財保護は大切な事業である。継承されていくためにも、更なる工夫が必要である。	4
43	生涯学習講座運営事業費	○生涯学習講座　基礎講座２３講座、自主講座２２講座 ○特別講座　スマホ・タブレット講座、奄美のお菓子作り講座、お片付け基礎講座、かんたん税金講座を実施。	計画通りに充実した内容を提供できた。今後も内容の検討、工夫が必要である。	「文化の町龍郷」の名にふさわしい取り組み、運営である。	4
44	図書活動推進事業費	○毎月第４日曜日１０時～　おはなし会（親子読書室） ○読書週間に合わせて、本の譲渡会を開催。	７月から毎月第４日曜日に３０分間、おはなし会を始めた。１２月には読み聞かせにボランティアも参加。新規のボランティアの確保が必要である。図書の充実、乳幼児から絵本に親しむ環境づくりに努めていきたい。	子どもたちと本を出合わせる良い取り組みである。子どもたちは月１回の移動図書館を楽しみにしており、目を輝かせて選んでいるようである。このわくわく感を今後も提供してほしい。	4
（評価指標）　1　要改善・2　要検討・3　妥当・4　良好・5　的確					

Ⅱ　教育委員の点検・評価結果

①　教育委員会

（１）教育委員会委員の点検・評価

毎月の定例会では、教育行政全般の報告や意見交換が行われた。また、教育行政を進めるうえで重要な案件についての審議・決定を行い、適正な委員会の運営に努めた。

学校訪問においては、授業参観や学校経営会議を行い、学校側と情報共有を行っている。

教育委員会主催行事や町主催行事、学校諸行事へ委員の積極的な参加をいただき教育行政の現状把握に努めた。

（２）龍郷町教育委員会委員の活動状況

１　教育委員の状況

○　令和４年４月１日現在の委員数・・・４人（男性２人・女性２人）

２　教育委員会定例会等の状況

○　令和４年度の招集回数

定例会・・・１２回

臨時会・・・　１回

３　会議録の作成

○　定例教育委員会の議事録を作成し、翌月の定例会で承認を得る。

４　教育委員の主な活動

４月・・小中学校入学式、転入教職員宣誓式、定例教育委員会など

５月・・学校訪問、子ども博物学士開講式、定例教育委員会など

６月・・スポーツ少年団交歓大会、学校訪問、定例教育委員会など

７月・・学力水準向上推進大会、学校訪問、定例教育委員会など

８月・・定例教育委員会など

９月・・学校訪問、中学校体育大会、定例教育委員会など

１０月・・小学校運動会、３町村合同教育委員等研修会、定例教育委員会など

１１月・・学校訪問、県教育委員会協議会、定例教育委員会など

１２月・・町ロードレース大会、定例教育委員会など

１月・・成人式、西郷南洲祭奉納剣道大会、定例教育委員会など

２月・・文化財防火訓練、町民フェア、定例教育委員会など

３月・・小中学校卒業式、総合教育会議、定例教育委員会など

○龍郷町教育委員会外部評価委員会設置要綱

平成20年４月１日教育委員会告示第２号

龍郷町教育委員会外部評価委員会設置要綱

（設置）

第１条　龍郷町教育委員会（以下「教育委員会」という。）の権限に属する、事務・事業の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うことで、地域の実情と住民ニーズに応じ、より効果的な教育行政の推進に資するとともに、事務・事業の管理及び執行状況についての透明性の確保と町民への説明責任を果たすため、龍郷町教育委員会外部評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所掌事務）

第２条　委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

（１）　教育委員会が実施する事務・事業の点検・評価を行う。

（２）　補助金等の交付の有り方について意見を述べること。

（３）　その他委員会が必要と認める事項

（組織）

第３条　委員会は、委員５人以内で組織する。

２　委員は、教育に識見を有する者の中から教育長が委嘱する。この場合において、教育長が必要と認めるときは、公募による者（龍郷町に住所を有する者に限る。）を含むことができる。

３　委員の任期は２年とする。ただし、再任を妨げない。

４　委員に欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長及び副委員長）

第４条　委員会に委員長及び副委員長を置く。

２　委員長は、委員の互選によりこれを定める。

３　副委員長は、委員のうちから委員長が指名する者をもって充てる。

４　委員長は、委員会を代表し会務を総理する。

５　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、または委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第５条　委員会の会議は委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。

２　委員会は、委員の半数が出席しなければ会議を開くことができない。

３　委員会の会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

４　委員会は、必要があると認めるときは、会議の委員以外の者の出席を求め、その説明又は、意見を聞くことができる。

５　委員会の会議は原則公開できるものとする。ただし、公開することが相当でないと委員会が認めるときはこの限りではない。

（庶務）

第６条　委員会の庶務は、教育委員会事務局において行う。

（委任）

第７条　この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附　則

この要綱は、平成20年４月１日から施行する。

参考